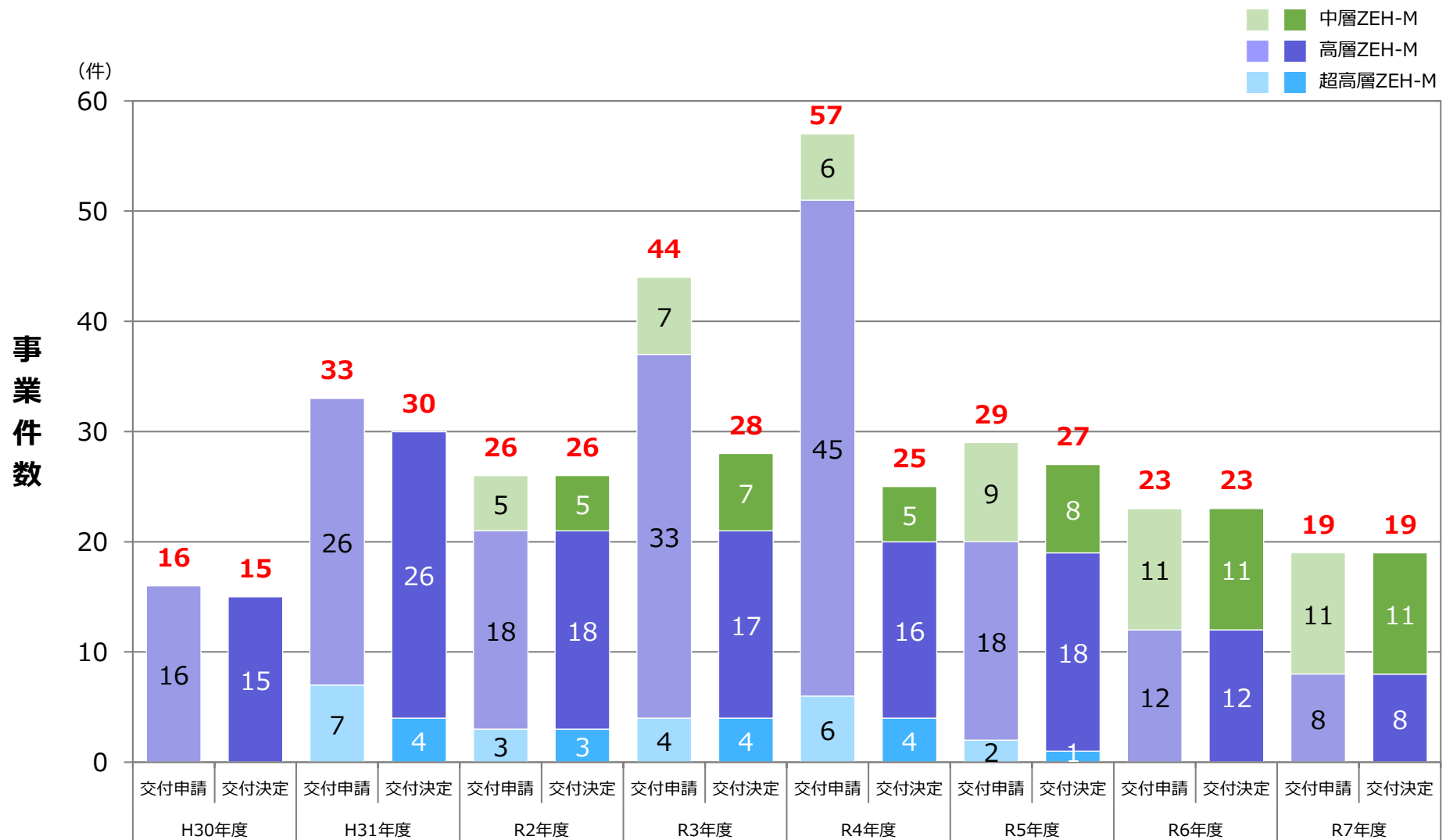


R7年度 交付決定事業の傾向分析 －中層・高層・超高層ZEH-M－

※ 中層はBELS情報、高層は交付決定情報を基に集計

1. 交付申請件数と交付決定件数(新規採択)の推移(直近8年)

➤ R7年度高層ZEH-M8件のうち2件は高層ZEH-Mに初めて関与するZEHデベロッパーによる事業だった。



※R2～R3年度の中層ZEH-Mは低中層ZEH-Mでの件数

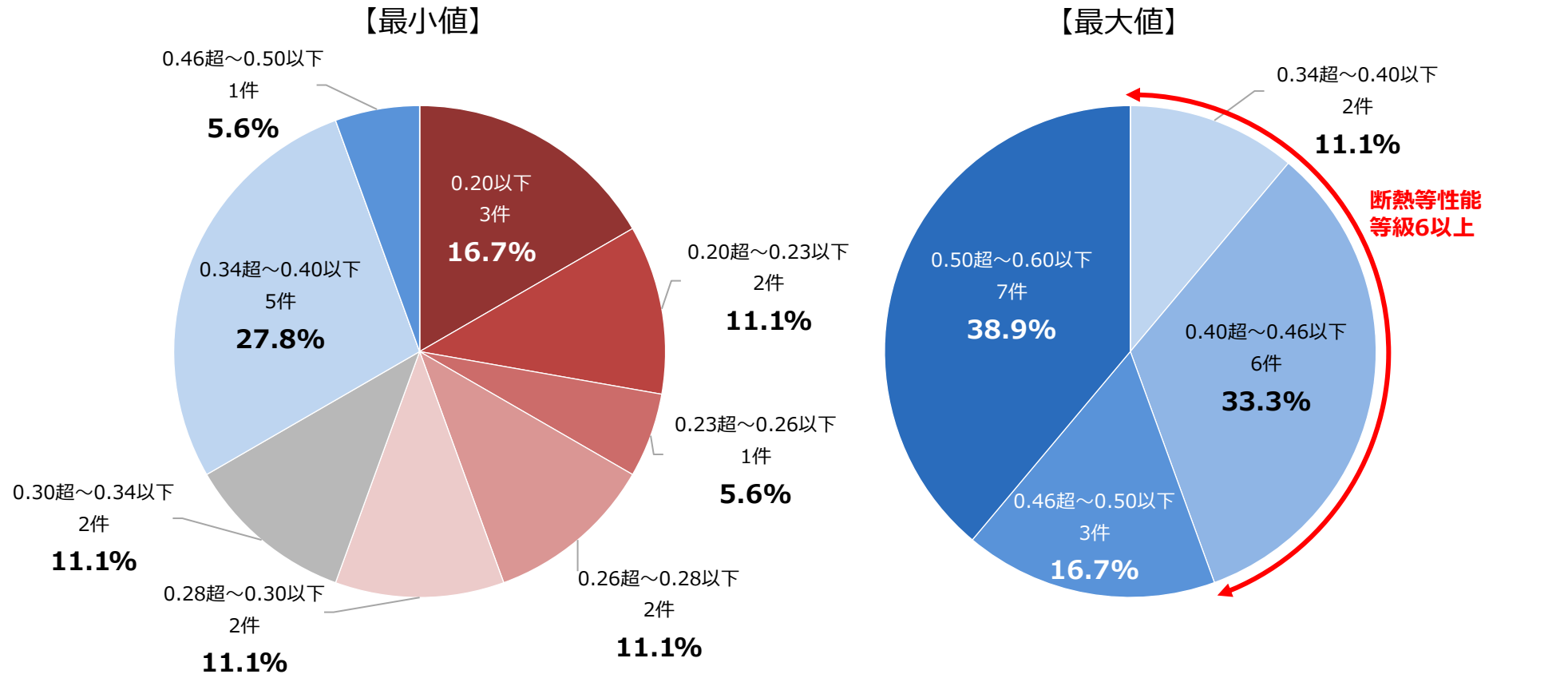
※R6年度以降の超高層ZEH-Mは新規公募を行っていない

(赤字は合計数)

3. 住戸の最小UA値及び最大UA値の割合

[N=18]

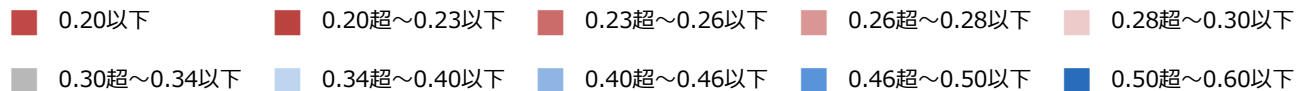
- 住棟を構成する全住戸のうち最も断熱性能が低い住戸(=最大UA値)の数値が断熱等性能等級6の基準を満たす中層ZEH-Mが8件だった。



地域区分		6 地域	
事業種別	UA値	最小値	最大値
中層ZEH-M		0.14	0.50
高層ZEH-M		0.27	0.60

※中層は住棟BELS、高層は交付決定情報

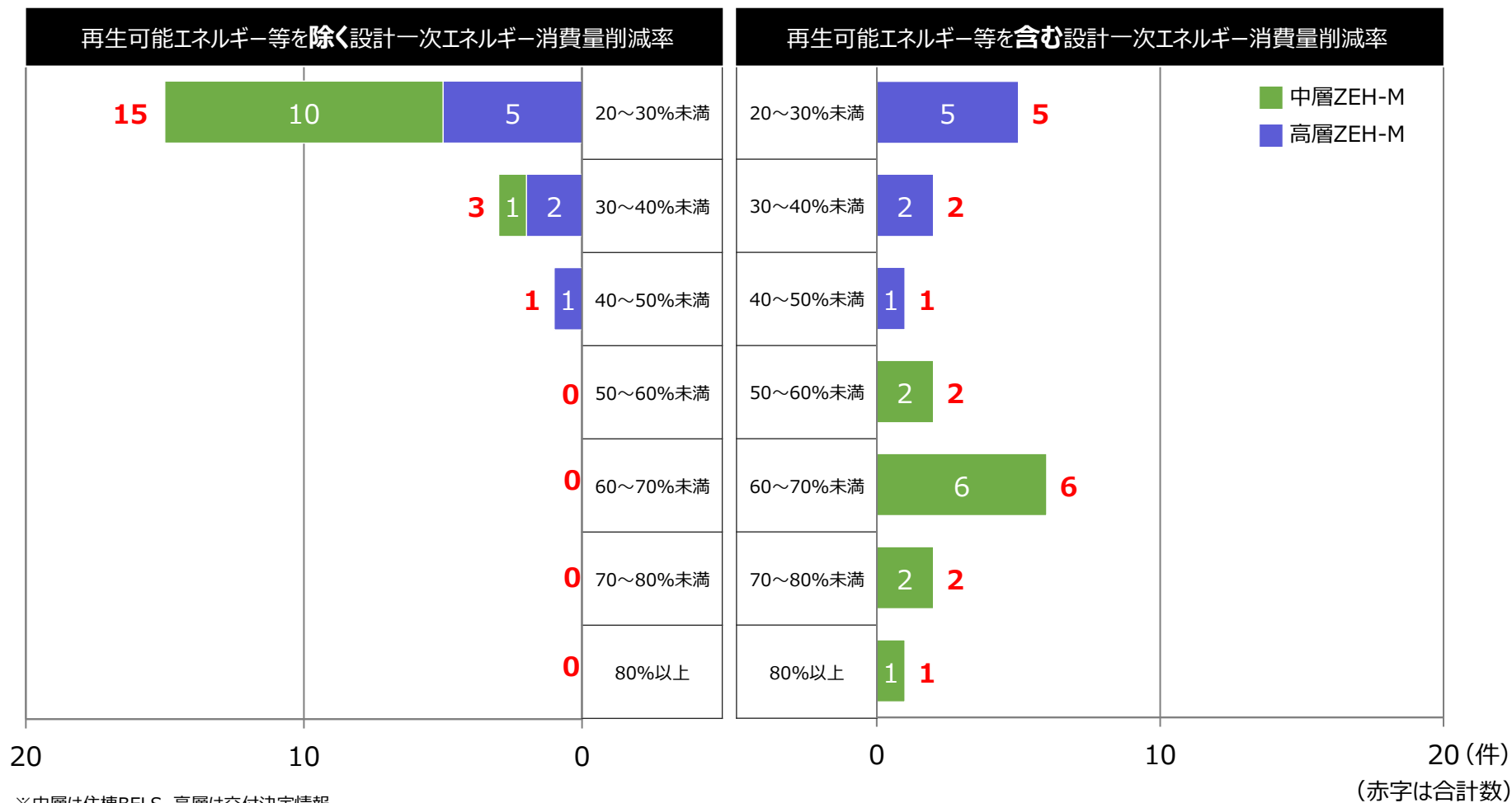
※8地域は除く



4. 住棟における再生可能エネルギー等を除く・含む設計一次エネルギー消費量削減率

[N=19]

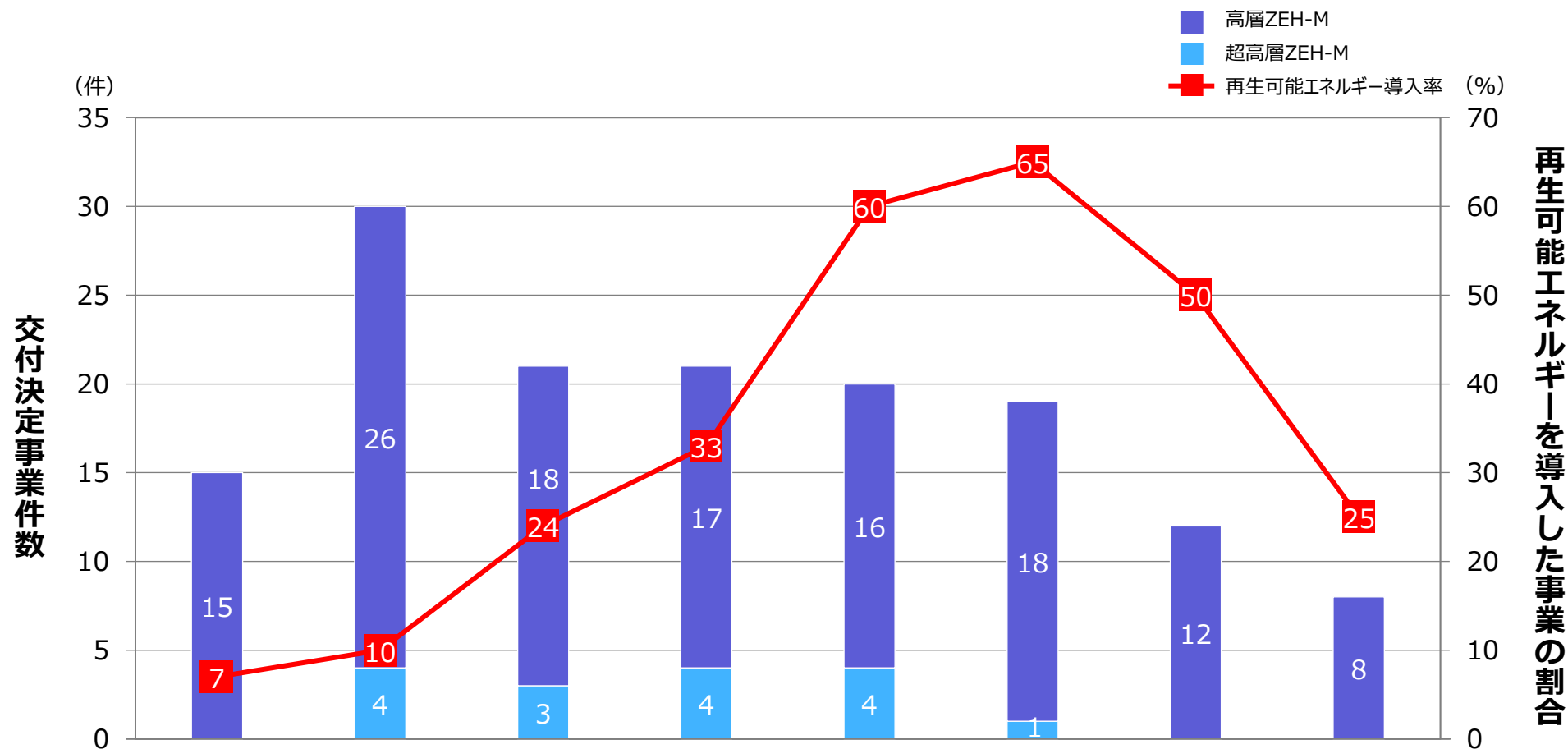
➤ 再生可能エネルギー等を除く設計一次エネルギー消費量削減率30%以上の高層ZEH-Mが3件、中層ZEH-Mが1件だった。



5. 高層ZEH-Mにおける再生可能エネルギー導入率の推移

[N=8]

➤ 交付決定事業のうち、PVの導入率は25%だった。



	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
事業種別	導入事業件数	導入事業件数	導入事業件数	導入事業件数	導入事業件数	導入事業件数	導入事業件数	導入事業件数
高層ZEH-M	1	1	5	5	11	11	6	2
超高層ZEH-M	0	2	0	2	1	0	-	-

※中層ZEH-Mは再生可能エネルギーの導入が必須要件のため分析対象から除外

6. 住棟における最大UA値と設計一次エネルギー消費量削減率の分布

[N=18]

- 中層ZEH-Mは9割以上がUA値0.40台のZEH-M Ready仕様で再エネ含む一次エネ削減率は最大87%に達する一方、高層ZEH-Mは再エネなしのUA値0.50台・一次エネ削減率20%台と大きく差がある状況。
- GX ZEH-Mシリーズの要件である外皮性能及び再生可能エネルギー等を除く設計一次エネルギー消費量削減率35%以上を満たす事業は、中層ZEH-Mで1件だった。

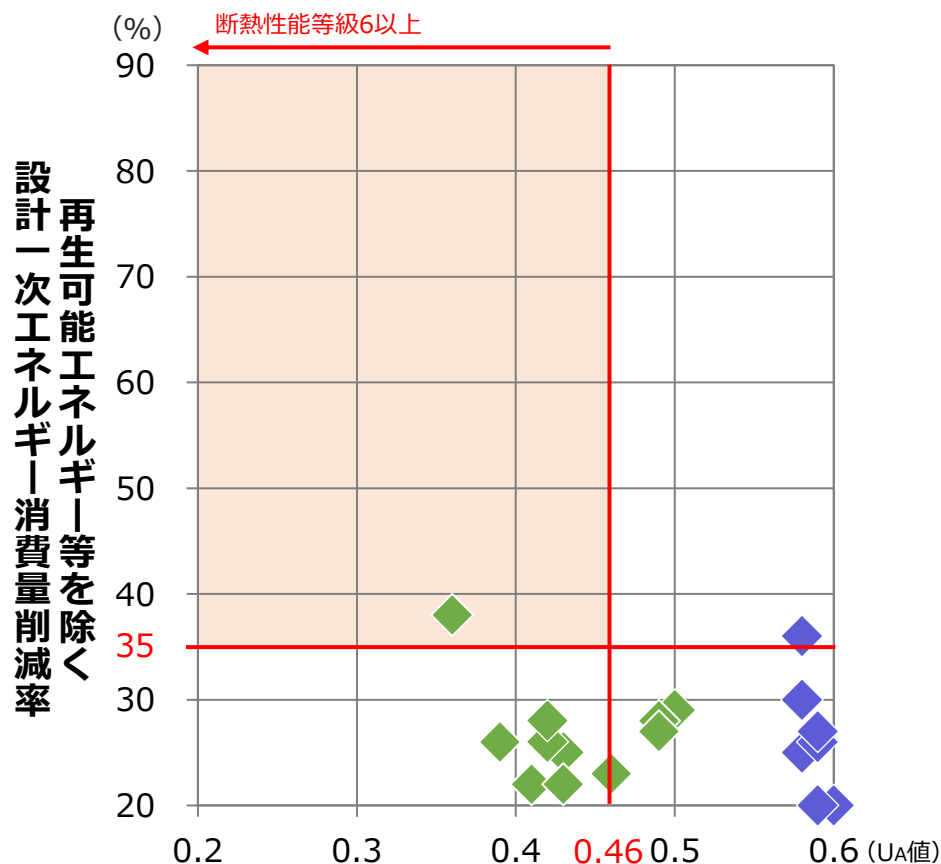
◆ 6地域 中層ZEH-M

◆ 6地域 高層ZEH-M

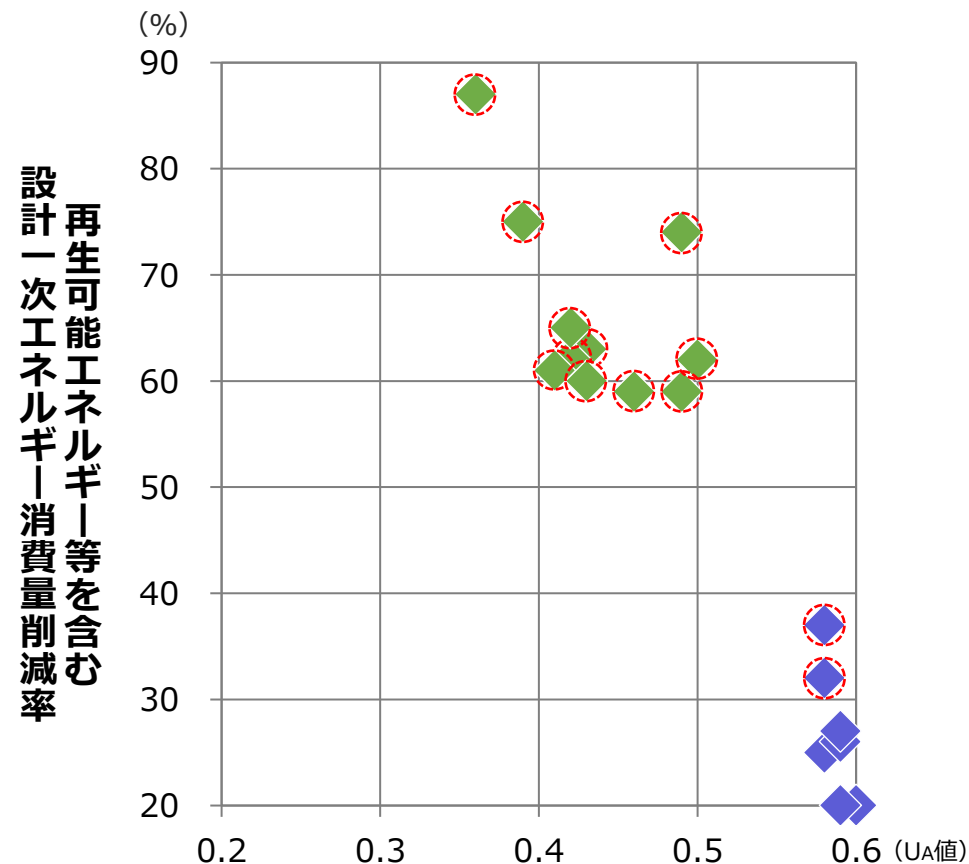
○ 再生可能エネルギー導入事業

※8地域はUA値の基準の規定がないためグラフから除外

■ 再生可能エネルギー等を除く分布



■ 再生可能エネルギー等を含む分布

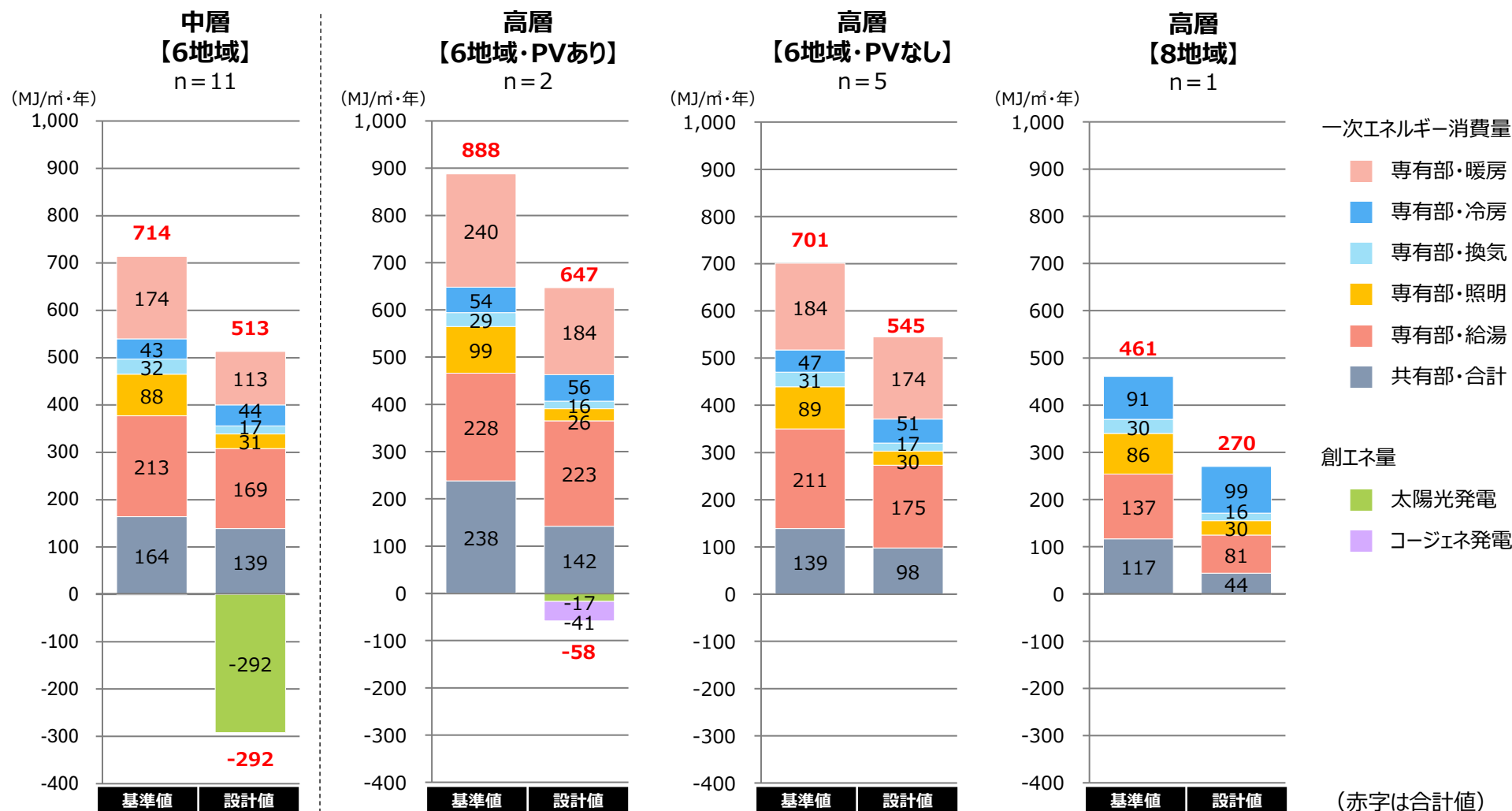


7. 住棟における単位面積あたりの一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)(地域区分別)

[N=19]

➤ 再エネ導入のない高層ZEH-Mでも設計値から基準値は約22.3%低減している。

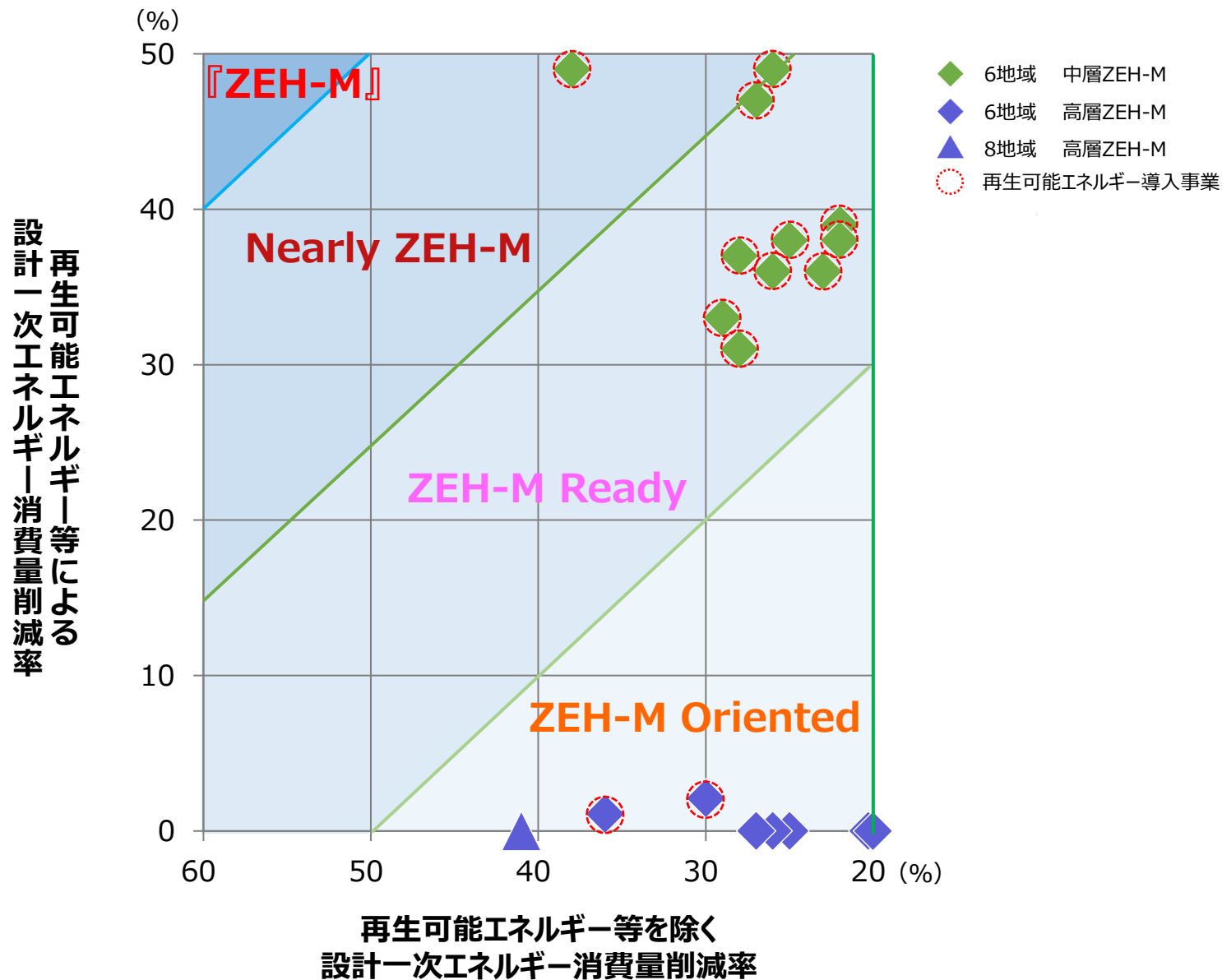
単位面積あたりの一次エネルギー消費量



8. ZEH-Mランクの達成分布

[N=19]

➤ 中層ZEH-MはNearly ZEH-Mが2件、ZEH-M Readyが9件、高層ZEH-Mは全てがZEH-M Orientedだった。



9. 設計一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)と太陽光発電による創エネ量(単位面積あたり)

[N=19]

- 単位面積あたりの設計一次エネルギー消費量の単純平均は中層ZEH-Mは $524.5\text{MJ}/\text{m}^2\cdot\text{年}$ 、高層ZEH-Mは $582.4\text{MJ}/\text{m}^2\cdot\text{年}$ だった。

